



東陽病院 鈴木 健士 内科医師

# 健康への

## メッセージ

シリーズ⑦

### 介護保険制度を理解し

### 活用する努力を

光町のみなさんこんにちは。今回は今最も話題になっている介護保険についてお話したいと思います。

ついに今年の4月から介護保険がスタートしました。この広報の紙面でも介護保険が始まるにあたり、いろいろな説明が掲載されたかと思えます。最近も新聞などのマスコミにもいろいろな問題点が載せられているようですが、そもそもこの保険はなぜ生まれたのでしょうか。

日本は障害者などの日常生活に不便のある方への介護、福祉という点では後進国です。北欧諸国などでは障害のある方でも家族に負担をかけることなく生活が保障されているそうです。日本では今までは家族の方が缺身的に（言い方を変えれば犠牲になって）介護するか、ごく限られた一部の人は公的な介護を受けてきました。公的な扶助は個人への負担は少ないですが、悪く言えば「施し」ともとれ、肩身の狭い思いをされている方も多いのではないかと思います。今回導入された介護保険はそれを改善するため、社会全体で保険としての資金を作り、障害のある方が当然の権利として介護を受けてもらおうという考えから生まれたものだと思います。確かに現状でははつきりしない部分もありますが、今までの福祉を強化することは期待できるのではないかと考えています。家族がお年寄りの介護をしているいま

の状態はすでに限界の状態であると思います。

お年寄りがお年寄りの世話をしている、または独居のお年寄りを近くに住む家族がかりうじて面倒をみている、などという状況は珍しくはなく、それも不可能で施設や病院に入院しているという方もいます。そのため施設はいつも満杯で入所を1年近く待っているというのも日常茶飯事です。病院への社会的入院（帰る所がないという社会的事情で入院している状態）が医療保険を破綻寸前にしています。国民の負担は増すわけですが、現在の高齢化、少子化、核家族化が進む今、家族が犠牲になって介護を一手に支えることは不可能と言っていると思います。始まった以上は批判ばかりしていても得るものはありません。この保険で我々の生活がより良く安定して過ごせるよう制度をよく理解し、活用する努力をすべきだと思います。

東陽病院でも介護型療養病床を設け、貢献したいと考えています。次回ももう少し介護保険のお話をしたいと思います。

#### ※東陽病院の休日当番日

5月21日(日) 午前9時～午後5時

医師2名が待機・来院の際は電話を ☎841335



## ガーデニングの本

特集

花のある暮らしは、心に安らぎを与え、私達の目を楽しませてくれます。暖かくなってきて、ガーデニングには良い時期です。たくさんの植物の中から何を植えるかは、あなた次第。すてきな庭づくりに挑戦してみたいかがでしょうか。

- 『はじめてのコンテナガーデニング』 日本文芸社
  - 『花をいっぱい咲かせたい』 主婦の友社
  - 『初めての寄せ植え』 世界文化社
  - 『組み合わせて楽しむコニファーの寄せ植え』 ブティック社
  - 『すてきな手作りガーデン』 主婦の友社
- 他にも、たくさんのガーデニング関係の本を用意しました。



＝町立図書館＝  
☎843311

**5月の休館日**  
 8日(日)・9日(火)  
 12日(金)・15日(月)  
 16日(火)・22日(月)  
 29日(月)・31日(水)